



# 世界の半分を 怒らせる方法

17歳現役高校2年生

## 日本人の8割はインターネット依存症

---

『インターネット依存症』 ウィキペディアにはこう書いてある。

”日常生活に干渉をおよぼす程度の、インターネットへ過剰に依存した状態をさす”

当然、俺の考え方であって皆と違うかもしれないけど、日本人の8割はインターネット依存症だ。

ガキの戯れ言だと思って聴いてほしい。

まずこの8割という値についてだが、現在の少子高齢化を受け入れて、およそ8割なんじゃないかって思う。

そう、つまり若者のほとんどがインターネット依存症だと僕は思う。

理由は何で？ もうすでに日常生活に干渉をおよぼしているのだ。

極論だが、もしも自分の手から明日、スマートフォンが無い生活が始まったらどう思う？

困るよな？それが当然になってるのが今の世の中なんだよ。

だから何が言いたいかってインターネット依存症なんて言葉が現代である時点で間違ってる

全てがシステムで制御され、最近ではマイナンバー制度。国民全員が数字で統制される時代だ。

そんなインターネットで世界が動いてる時代で

インターネットが最先端で、インターネットが仕事の一環となってる今

インターネット依存症なんて口にしてる老害はなんなんだろう。

僕の考え方はこうなわけだ。そして余談だが例え話をさせてくれ。

1995年に押井守が監督を務めたSFアニメ映画「攻殻機動隊 GHOST IN THE SHELL」

当時、まだインターネットが普及してない時代に創られた映画だったのに、映画の内容がかなり最先端の話だった。

押井監督自身も「作ってて何が何だか分かんなかった」なんていうほどだ。

肝心の映画の内容と云ったら、”インターネットが世界を覆う時代。全身義体で脳以外が機械の主人公『草薙素子』が自分自身に本当に人格があるのか。自分の過去を思い出せない草薙素子が葛藤する物語”である。

この攻殻機動隊が予想した未来に、私達は近づいて行ってるのだ。

今後も展開されるであろうインターネットの世界で

インターネット依存症なんて言葉がある時点で、この世の中は間違ってると思う。

みんなインターネット依存症なのに....

